

麻しんの感染拡大防止に向けた地方公共団体の皆様へのメッセージ

- 重症になりやすく、感染力が極めて高い麻しん（はしか）が、2020年以降最多となるペースで感染拡大しています。更なる感染拡大防止のため、以下の事項について、ご協力をお願いいたします。

<受診体制>

- 住民が円滑に受診できるよう、**土日及び大型連休中においても、受診可能な医療機関があることを周知**するようお願いいたします。
- 麻しんを疑う症状がある場合は、**外出を控えるとともに、受診前に医療機関に連絡し相談することを勧奨**いただくようお願いいたします。

<積極的疫学調査>

- 厚生労働省から国民向けに、麻しんの感染拡大防止のため、罹患者や接触者に対する調査への協力について周知しています。
- ガイドラインに沿ったご対応をいただき、発生状況や業務負荷等を踏まえ、**必要に応じて他部署からの応援や全庁的な体制を構築**するなど、柔軟な対応を行っていただくようお願いいたします。また、必要に応じて、国立感染症研究所応用疫学センター（FETPを含む。）等へのご相談もご検討ください。
- その上で、**逼迫する場合には、世帯内居住者等の接触者のほか、重症化のリスクが高い者などを優先的に行うことも可能**です。

<ワクチン接種体制>

- 発症予防、重症化予防の観点から、ワクチンは2回接種することが重要です。過去、ワクチン接種が十分でない集団で拡大が生じた事例もあります。
- 市町村においては、定期接種率が低い自治体を中心に、そうしたリスク集団の有無について確認いただくとともに、**積極的に対象期間早期の接種を勧奨**いただくようお願いいたします。
- 都道府県及び保健所設置市区においては、**ガイドラインに記載している緊急接種対象者（麻しん患者と接触後72時間以内で、かつ麻しん含有ワクチンの2回接種を完了していない者）に対するワクチン接種**について、医療機関への相談を勧めていただきますようお願いいたします。

<任意接種の対応可能医療機関の一覧化>

- 令和8年度の医療機関へのワクチン供給量は、例年と同様以上となる見込みであること、感染者数が増加していることを踏まえ、**任意接種を受けることができる医療機関について一覧化することで、住民の皆様はワクチン接種をより積極的にご検討いただける**可能性があります。可能な範囲で、そうした対応を行うこともご検討ください。

<地方衛生研究所等における検査体制>

- 土日及び大型連休中も、必要に応じて検査体制を維持するようお願いいたします。
- 地方衛生研究所等への検査依頼が集中することが想定されるため、地方衛生研究所等では陽性検体を優先的に検査するなどの工夫もご検討ください。

<特定感染症検査等事業（麻しんの抗体検査）>

- 特定感染症検査等事業のメニューとして、**麻しんの抗体検査の補助**（国1/2、都道府県1/2）を行っています。
- 事業のご活用をご検討いただくとともに、ご活用いただく場合には、住民の皆様への積極的な広報についてもご検討ください。